



2023年6月27日

各 位

会社名 日糧製パン株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉田勝彦
(コード:2218、札証)
問合せ先 取締役経理本部長 那須英幸
(TEL.011-851-8188)

2023年3月期有価証券報告書の提出期限に係る承認申請書提出のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、企業内容等の開示に関する内閣府令第15条の2第1項に規定する有価証券報告書の提出期限に係る承認申請書を北海道財務局へ本日付けで提出することを決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 対象となる有価証券報告書

2023年3月期有価証券報告書(自2022年4月1日至2023年3月31日)

2. 延長前の提出期限

2023年6月30日

3. 延長が承認された場合の提出期限

2023年7月31日

4. 提出期限の延長を必要とする理由

当社は、2023年5月18日付「特別調査委員会の設置に関するお知らせ」のとおり、決算内容において不適切な処理が含まれている疑い(以下「本事案」といいます。)が判明したことを受け、同日付で外部有識者を委員に含めた特別調査委員会を設置し、本事案の事実関係の調査、本事案に類似する事象の存否などについて公正で適正な調査を行うことといたしました。

2023年6月22日付「特別調査委員会による調査進捗状況に関するお知らせ」において、当該時点までの特別調査委員会における調査検討の結果、当社において、以下のような不正行為がなされていたことが確認された旨、開示いたしました。なお、当該時点では本事案に類した事象の広がりは確認されておりません。

当社においては、倉庫のほか、各部門において一定数量の原材料等を管理保管しており、これを倉庫在庫と区別して、「現場在庫」と呼称しております。特別調査委員会による調査によれば、少なくとも一部の部門において、特定の部門長の指示のもと、自部門の業績を良く見せるため、この現場在庫の棚卸数値を過大計上するとの不正行為がなされておりました。当該部門においては、最低でも過去2年間にわたって不正行為がなされており、2023年3月末時点で過大計上と見込まれる金額は最大で約6000万円に及ぶことが想定されます。

現在も、特別調査委員会による調査が継続しており、本事案の関係者へのヒアリングや関係書類の精査・分析等多岐にわたる方法での調査を行っているため、調査が完了し、調査報告書を当社が受領するまでには相応の日数を要することが見込まれます。また、特別調査委員会の調査結果を踏まえて、当社の財務諸表に対する会計監査人の追加的な監査手続等も必要となることから、2023年3月期有価証券報告書の提出手続が完了するまでに今後約1か月程度の期間を要する見通しとなりました。

このため、当社は、金融商品取引法第24条第1項に定める提出期限内に2023年3月期有価証券報告書を提出することは困難と判断し、本日付で同有価証券報告書の提出期限に係る承認申請書を北海道財務局へ提出することといたしました。

なお、当社は引き続き、特別調査委員会の調査が迅速に行われるよう、全面的に協力してまいります。

5. 今後の予定

今回の提出期限に係る申請が承認された場合には、速やかにお知らせいたします。

株主・投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますこと、心より深くお詫び申し上げます。

以 上